

弊社の歴史と製品紹介

日野 宏昭 (ひの ひろあき) 昭和鉄工(株) 機器装置事業本部 空調熱源事業部 技術部長

要約 弊社は、創業が明治16年(1883年)で、本年10月2日で126周年を迎えた。弊社は、「蒸気消毒器」の製造開始とともに創業を始め、草創期の消毒器に始まる「熱」を取扱う技術を暖房装置へと継承し、以来、取扱う技術と商品群を増やしてきた。「誠実を造り誠実を売る」という理念のもと、都市生活の基盤となる快適な生活環境創りを目指して商品開発を行ってきた。弊社の創業から現在までの歴史と商品群を振り返るとともに、現在の主な製品を紹介したい。

1. はじめに

時代を経るごとに取り巻く環境は大きく変化してきた。以前は予想さえ出来なかったことが、常識化され、時代とともに変化の速度も加速してきた。今後この変化は加速され、世界の経済情勢や地球規模での環境問題等に影響を受けながら技術は進化する。今日では革新的な技術さえ早期に陳腐化し、製品ライフサイクルも非常に短くなって来ている。

弊社は、明治、大正、昭和を経て、本年で127年目を迎えた。創業期から消毒器、ラジエータ、ボイラー、鑄造製品、空調機器、電気ヒーター、FPD用焼成炉、業務用エコキュートなどを製造してきたが、これまで一貫して「HEAT:熱」への取り組みをコアとして事業展開してきた。この機会に弊社の歴史を振り返り現在に至るまでの商品群を皆様方に紹介したい。

2. 弊社の沿革

2.1 創業期

明治16年、福岡市極楽寺町(現福岡市中央区)に、斎藤一が医療機器の製造販売を業務とする斎藤製作所を開設したのが、弊社の始まりである。

当時の日本は欧米文化吸収に官民あげていた時期で、九州では電気・ガス・電話などもなかった時代である。明治20年に斎藤製作所では、いち早く発電機・電話機を作り、これらに必要な電線の被覆線や電鈴・電池、それにメス・鋏などの医療機器を製作していた。

病院の消毒器・滅菌水製造器・蒸留水製造器などの修理を依頼されたことが機縁で、それらの製造を手掛けるようになった。当時、日清戦争が起こり、日本各地に陸軍病院が建てられ、医療機器の需要が急騰し、一挙に脚光を浴びることとなった。

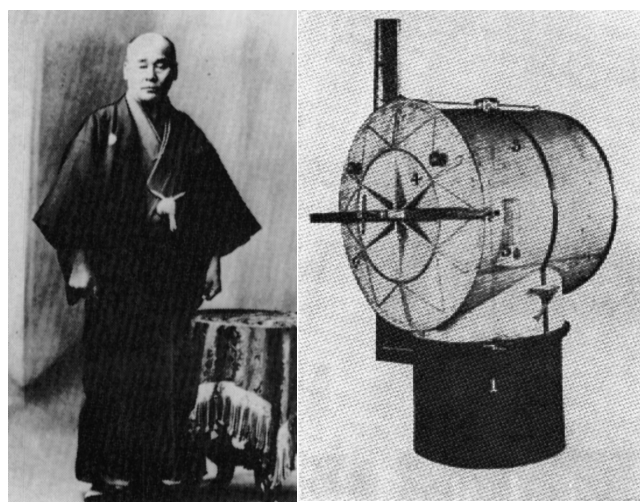


写真1 創業者 斎藤 一 写真2 蒸気消毒器

2.2 ラジエータ国産化

明治30年代は、欧米のラジエータが輸入されていた。弊社では国産化の研究を進め、特許を取得、明治41年に「2柱式」、その翌年に「3柱式放熱器」の製造に成功した。弊社のラジエータは当時唯一の国産品であり、海軍省などの国家機関に多く採用された。

明治43年に宮内省からの特命で、明治天皇御召列車用ラジエータを上納した。以後さまざまな種類のラジエータを開発・商品化し、国内外に多く出荷した。